



がん治療における歯科の役割

歯科口腔外科
中川 典子

歯科口腔外科について

- 診療内容：
- ①周術期口腔機能管理（手術・化学療法・緩和ケア）
 - ②地域からの紹介（抜歯や口腔粘膜の精査など）
 - ③入院患者の口腔内精査依頼
 - ④病棟口腔ケア
 - ⑤DM教育入院
 - ⑥退院前CFの参加、口腔ケア委員会、周術期AP予防Tなど

スタッフ構成：常勤歯科医師 2 名、
常勤歯科衛生士 3 名
医師補助事務 2 名



周術期口腔機能管理とは…

周術期口腔機能管理

手術

化学療法

緩和ケア

手術と歯科について

周術期口腔機能管理

手術

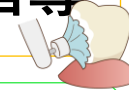
化学療法

緩和ケア

当科の手術前後の歯科受診の流れ

初診

- ・レントゲン撮影 歯周病チェック 歯の掃除 歯磨き指導



入院まで

- ・セルフケア

手術前日

- ・歯科口腔外科外来にて歯の掃除



手術後
1回目

- ・往診または歯科口腔外科で口腔内の点検、歯の掃除



手術後
2回目

- ・歯科口腔外科外来で歯の掃除



- ・退院まで必要に応じて点検、歯の掃除の継続



⋮

退院

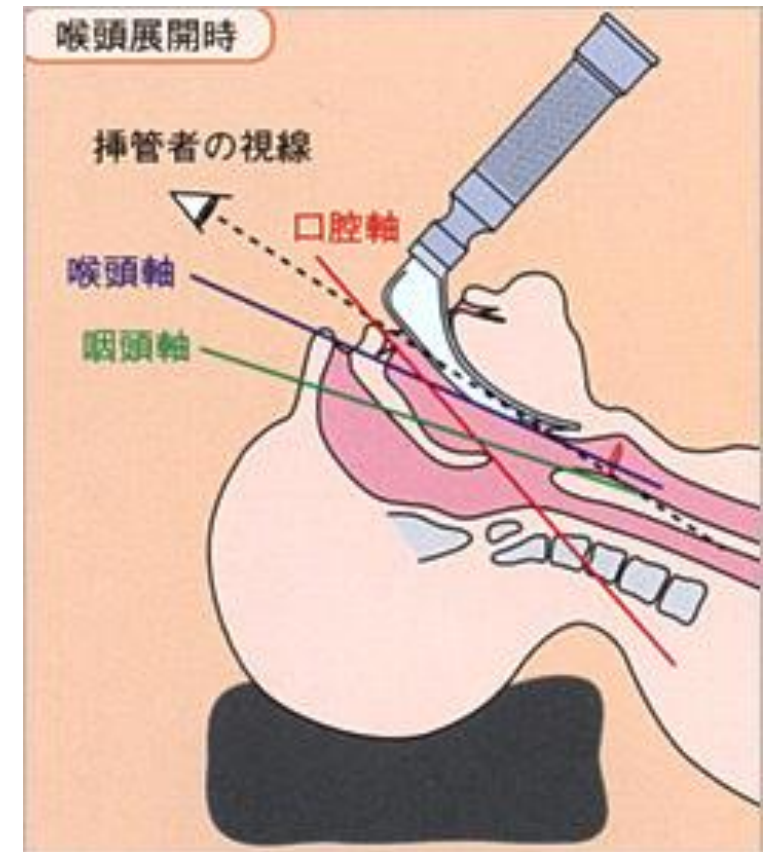
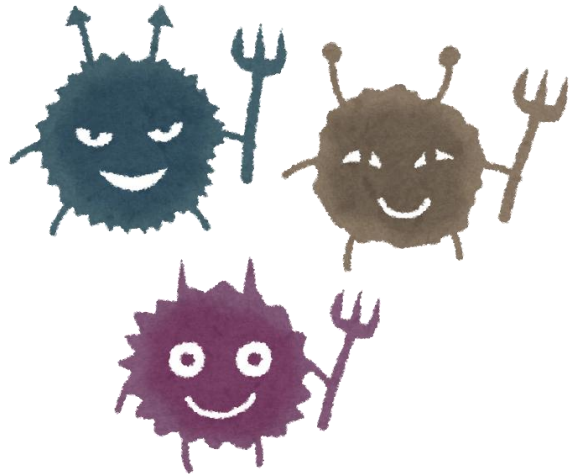
- ・かかりつけ歯科あてに診療情報提供書を作成



目的は…

- ①誤嚥性肺炎予防
- ②歯牙脱落などの誤飲予防

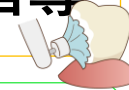
口腔内には**400種類以上**もの
細菌が**4000億個**も存在！！



当科の手術前後の歯科受診の流れ

初診

- ・レントゲン撮影 歯周病チェック 歯の掃除 歯磨き指導



入院まで

- ・セルフケア

手術前日

- ・歯科口腔外科外来にて歯の掃除



手術後
1回目

- ・往診または歯科口腔外科外来で口腔内の点検、歯の掃除



手術後
2回目

- ・歯科口腔外科外来で歯の掃除



- ・退院まで必要に応じて点検、歯の掃除の継続



⋮

退院

- ・かかりつけ歯科あてに診療情報提供書を作成



齒石除去前



齒石除去後

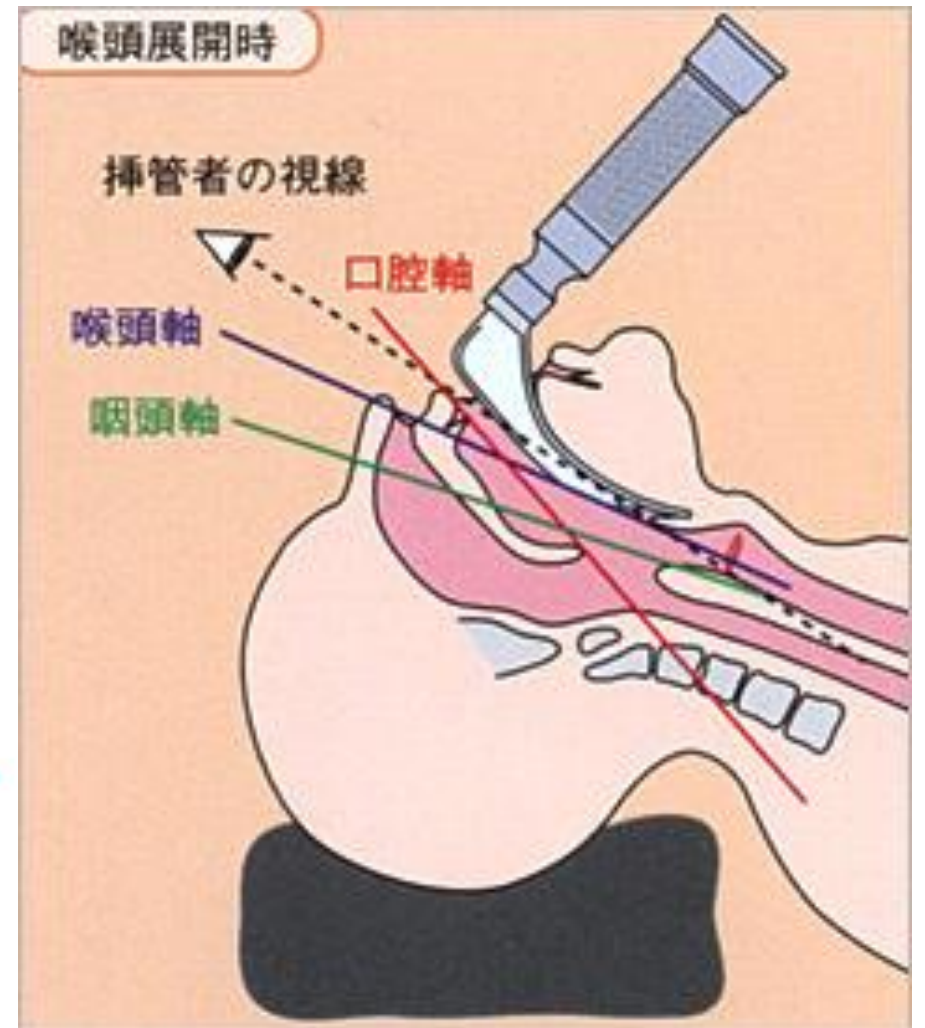


どうして手術前に動揺歯の確認が必要なの？

気管挿管の際に喉頭鏡を使うが、たまに喉頭鏡が歯に当たって歯や詰め物が外れてしまうことがある

もし、気管内に落ち込んだら…気管支鏡で除去
食道内なら便から排泄されるのを待つ

**挿管時に歯の破損で裁判に
発展したケースも！**



もし、動揺歯があったら…



①マウスピース作製

②動揺歯の固定



③抜歯(手術から **1週間以上前** だったら可能)



その他、義歯の確認や周術期AP予防Teamと連携して
入院中の食事内容や誤嚥性肺炎予防に努めています。



化学療法と歯科について

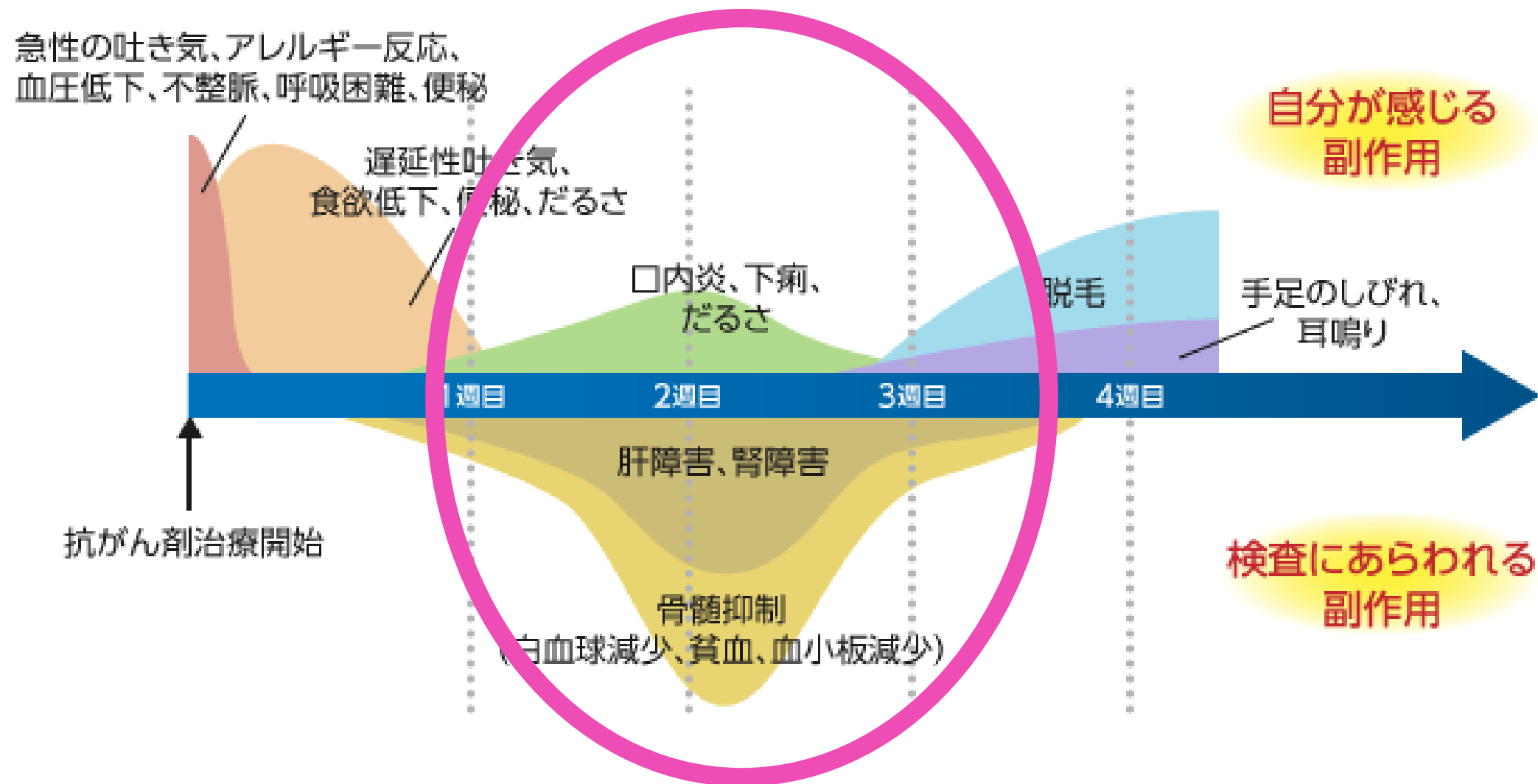
周術期口腔機能管理

手術

化学療法

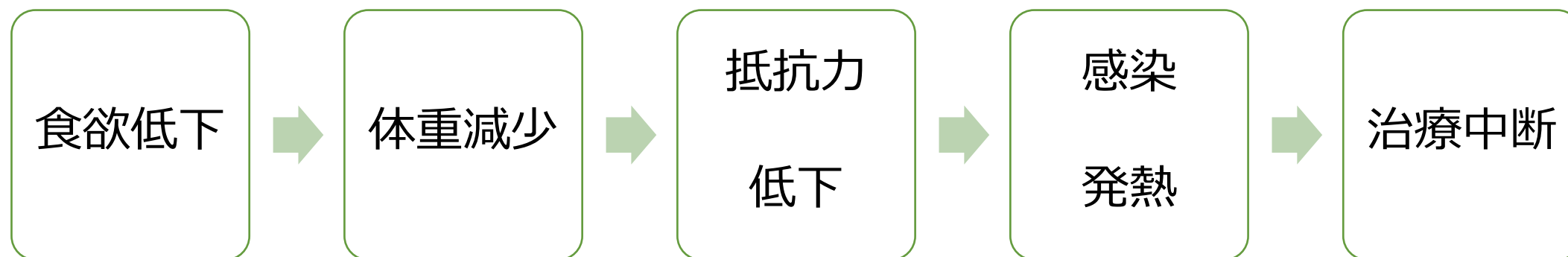
緩和ケア

主な副作用と発現時期



化学療法を開始すると…

がん細胞だけではなく、正常な細胞にも影響を与え、
約 40%の方に口腔内に様々な症状が出現することがある。



化学療法**前**に歯科が介入する理由

- ・感染リスクの管理

口腔内の感染源除去

衛生士による口腔ケア

セルフケア指導

誤嚥性肺炎予防



化学療法開始 2 週間前までに歯科の診察・処置を終了させておくことが推奨されている

どうして **2週間以上前**に歯科の診察を終了しておくことが推奨されているの？



化学療法中に歯科が介入する理由

- 口腔粘膜障害への対応

急性期の口腔粘膜炎（口内炎）の症状緩和

衛生士による口腔ケア

セルフケア指導

誤嚥性肺炎予防

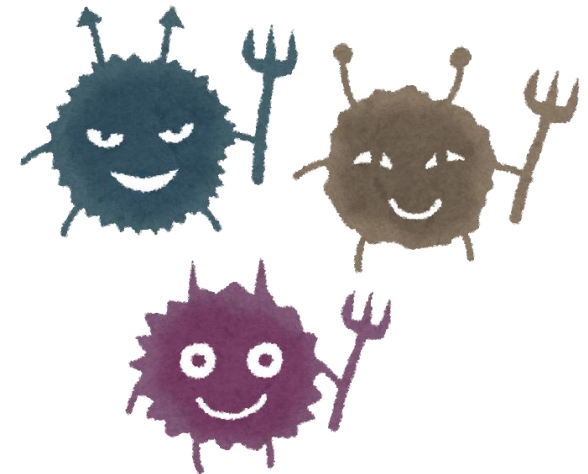


化学療法における口腔内の副作用

- ・ 口腔粘膜炎
- ・ 歯肉出血
- ・ 口腔乾燥
- ・ 口腔カンジダ症
- ・ 口唇ヘルペス
- ・ 味覚異常
- ・ 知覚過敏
- ・ 歯性感染症
- ・ 顎骨壊死

副作用を増悪させる因子

- ① 物理的因子：虫歯、尖った歯など
- ② 化学的要因：組織刺激が強い含嗽剤など
- ③ 生物学的要因：細菌、ウイルス、真菌など



副作用のリスクを減らすには…

①セルフケアの徹底

②口腔内の保湿

③歯科医院での定期的なプロフェッショナルケア

④化学療法開始前の虫歯・歯周病治療や抜歯

口腔内には**400種類以上**もの
細菌が**4000億個**も存在！！



➡ 口腔ケアをして**口腔内の細菌を減らす**

口腔乾燥がある場合、うがいをしたらいいの…？



➡ うがいをすることで、口腔内の唾液が流れてしまい、
口腔乾燥を助長させてしまう

**うがいは頻回にせず、
しっかり水分を摂取しましょう！！**

口腔粘膜炎に対して

エピシル口腔用液

口腔内の水分を吸収、ゲル状の保護膜を形成、
口腔粘膜を保護
適用 5 分後から効果発揮 8 時間効果持続
歯科にて処方 3 割負担で約3700円



サンスター バトラー マウスベール お口の液体絆創膏

とろみのある液体が口腔粘膜に付着
傷の表面を覆って保護
口内炎、義歯による創傷など適応は広い
売店にて販売中 3520円



口腔乾燥に対して

ミストタイプ



ジェルタイプ



準備で変わる!! 賢い手術前の過ごし方

手術は山登り！ 低くならかな山もあれば、高く険しい山もあります。
あなたはどんな準備をしますか？



ステップ
3

落とし穴に落ちないように



知って得する！ 手術前の歯科受診

- 1 全身麻酔時の気管内挿管（人工呼吸器の管が口を通して気管の中に入る）の際に、歯が折れたり抜けたりしないように歯を守る準備をします。
- 2 お口の中をきれいにすることで口の中の細菌数を減らし、手術後の肺炎のリスクを減らします。
- 3 口やのど、食道などの手術の場合、術後に傷口が感染を起こすリスクを減らせることにもつながります。
- 4 噛み合わせをよくしておくことで、口からの食事開始をスムーズにし、全身の回復を助けます。

歯科医師は

- お口の診察をし、歯の治療計画を立てていきます。
- お口のレントゲンで顎の骨や歯の根を確認します。
- 歯周病の検査を行います。



歯科衛生士が

- 超音波の機械で歯石を取り除きます。
- 汚れが付きにくくなるように歯の表面をツルツルに仕上げます。
- 歯磨き指導をします。



手術をきっかけに健康なお口を取り戻しましょう!!
普段から、かかりつけ歯科で定期的なメンテナンスを受けることが大切です。

ご清聴ありがとうございました